

福山市とハミルトン

わが懐しのハミルトンニアン

藤井由和

親善訪問団の団長として、福山市の中  
高生十四人を連れてハミルトン市を訪れ  
たのは、一九八〇年のことである。夏の  
六日間、ハミルトン市に滞在したが、私  
は、ご主人が高校教師、奥さんが病院勤  
務、息子一人と娘三人のいるラスキーナ  
家にお世話になった。息子ダリル君の部  
屋が私に提供された。ダリル君はその間、  
どこかへ行って泊っていた。

になると身振り、手振りで補いながら結  
構対話を楽しみ、ハミルトンを去るとき  
は、ホストファミリーの人たちも、肉親  
との別離に心痛むかのように、悲しみ泣  
いていた。子どもたちは、ハミルトンで  
生活を共にし、語り合い、親善交流を見  
事に果たしてくれた。

家族の一員として迎えられて、ファー  
スト・ネームで呼び合い、冷蔵庫や地下  
の洗濯機や乾燥機も自由に使用してくれ  
た。私が一番感激したのは、共稼ぎ家庭  
であるため家の出入りに私が不自由では  
なく、私に家の鍵を渡  
してくれたことであ  
る。他人でしかも外  
国人である私に家の  
鍵を渡すことのでき  
る心の広さ、私に対  
する信頼が、例えよ  
うもなく嬉しかった。

ハミルトンから青少年親善訪問団が訪  
れた際は、ホームステイ、観光、公式行  
事のほかに、福山市ユネスコ協会の青年  
たちと楽しい交流のひと時を過ごした。  
ハミルトンの子どもたちは福山っ子にな  
りきり、ひとつの輪になって「ハナイチ  
モンメ」に興じたりして、友情を温め合  
うことができ、福山駅頭ではやはり涙の  
別れとなった。

●ハミルトン  
あちこちの家庭に分散滞  
在した中高生たちも、当初  
は不安で緊張し、辞書片手  
に悪戦苦闘していたが、環  
境に慣れるのが早く、後半

政財界人や一般市民の交流も続いてい  
る。  
一九八二年八月にはハミルトン出身の  
大学生三人が市内に分散滞在したが、私  
の小さな家でもそのうち一人を家族の一  
員として迎えた。滞在最終日に三人を広  
島に案内、原爆ドーム、資料館を見終わ  
ったとき、陽気な彼らは無口になった。

昨年五月には、地元紙スペクテーター  
のカメラマン、ポール・ホリガン氏が、  
空手七段のドン・ウォーナー氏とその弟

子三人とともに福山を訪れた。ホリガン  
氏は福山紹介のための写真取材で駆け回  
り、ウォーナー氏たちは武道館での空手  
交流のほか、私の勤めている中学校で生  
徒たちに模範演技を見せてくれた。  
続いて訪れたハミルトン商工会議所の  
ムレイ会頭は、市に土地を寄贈して親善  
交流施設を作る予定を伝えた。  
それにしても、私たちは相手国や市を  
余りにも知らなすぎた。短い日程の中  
で慌ただしく行事をこなす観光してまわ  
るだけではだめで、短くとも一週間はホ  
ームステイをし、家庭生活に触れ、市民  
に接し、市内の裏街まで足をのばすべ  
きである。訪問国の言葉を片言でも話そう  
と努力しないのは傲慢である。訪問国の  
国歌を一体何人が知っているだろうか。  
訪問中、万一切かの行事で国歌演奏があ  
ったとき、恥  
をかかなくて  
はすまされな  
いだろう。お  
互いの市で  
「親善都市訪問  
ガイドブック」  
ぐらい作るべ  
きだ。姉妹都  
市への関わり  
を一部の人た  
ちにとどめる  
ことなく、す  
べての市民に  
啓蒙する取り  
組みが日常的

ハミルトン市庁舎の前で。



この姉妹都市シリーズは、一応これ  
で打ち切ります。一九八〇年以降に姉  
妹提携した都市については、改めてご  
紹介する予定です。

恒常的になされ、  
そのためのコーナー  
も常設されるべきである。  
姉妹都市緑組をしたか  
らには、それに熱っぽく関  
わり、愛情をもって忍耐強  
く育てることをしないと、  
国際親善・国際理解どころか、国際誤解  
を招き、お互いに心を傷つけ合うこと  
にもなりかねない。  
(福山市立広瀬中学校長)

福山市がハミルトンと姉妹緑組をし  
たのは一九七六年十月。その五年前にハ  
ミルトンを訪問した福山市の市長が、産  
業活動が旺盛で生活環境も良く整備され  
ている様子を見て同市との友好親善を打  
診したのが、提携のきっかけとなった。  
鉄鋼の町同士の結びつきである。  
トロントから西へ六十五キロ、オンタ  
リオ湖に面するハミルトン市は、セント・  
ローレンス水路の要衝で、「カナダのピ  
ッツバーグ」と呼ばれる鉄鋼生産の中心  
地。名門マクマスター大学やロイヤル・  
ボタニカル・ガーデン、フットボールの  
殿堂——などの所在地としても知られる。